

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 研究課題名                            | 子宮頸部静脈瘤合併妊娠についての検討  |
| 研究の意義・目的                         | 妊娠中の子宮頸部静脈瘤はまれであると言われていますが、しばしば妊娠中や分娩時に大量出血をひきおこす重要な疾患です。しかし現在のところ、その診断方法や有効な治療法等について定まったものではありません。大阪公立大学医学部附属病院女性診療科では主として超音波検査を用いて子宮頸部静脈瘤合併妊娠を診断し、慎重に妊娠分娩管理を行っています。この研究は当科で子宮頸部静脈瘤合併妊娠と考えられた方の診断方法や治療法、出血量等を検討し、子宮頸部静脈瘤の有効な診断方法やリスク因子、大量出血のリスク因子、妊娠、分娩への影響等を調べることを目的としています。 |
| 研究を行う期間                          | 研究機関の長の実施許可日～2027年12月まで   |
| 研究協力をお願いしたい方(対象者)                | 2013年1月から2026年12月までに、大阪公立大学医学部附属病院女性診療科にて、子宮頸部静脈瘤合併妊娠と診断され分娩を行った方が対象となります。  |
| 協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目 | 診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。<br>診療情報等：年齢、身長、体重、経妊経産数、妊娠方法、合併症、既往歴、妊娠経過、超音波検査やMRI画像の所見、血液検査所見、分娩方法、分娩時出血量、出血に対する治療法、出生児の体重、アプガースコア、出生児の血液所見、胎盤病理所見等。  |
| 試料・情報の他機関への提供                    | この研究は大阪公立大学医学部附属病院女性診療科のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。  |
| この研究を行っている共同研究機関                 | この研究は大阪公立大学医学部附属病院女性診療科のみで行います。   |
| 試料・情報を管理する責任者                    | 大阪公立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 研究責任者 田原三枝  |
| 本研究の利益相反                         | 利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。<br>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。   |
| 研究に協力をしたくない場合                    | 下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。  |
| 連絡先                              | 大阪公立大学大学院医学研究科 女性生涯医学<br>(担当者氏名) 田原三枝<br>電話番号：06 - 6645 - 3862  |